作成日　2015 年　12 月　21 日
改訂日　2022 年　12 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	彩アストンバインダー　冬用
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054　埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	販売営業部
作成者	技術部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	天然石結合材
整理番号	612060

2．危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1B
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分3
	水生環境有害性（慢性）	区分3

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 皮膚刺激
- 強い眼刺激
- 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
- アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- 水生生物に有害
- 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書

【安全対策】
- 容器を密閉しておくこと。
- 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 粉塵／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

【応急処置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉し、涼しいところ/換気の良い場所で、施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）注1)	備考
ポリイソシアネート	なし	98.7	
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	≦0.6 注2)	労働安全衛生法57条の2 第一種指定化学物質
3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシルイソシアネート	4098-71-9	≦0.1 注2)	労働安全衛生法57条の2 第一種指定化学物質
すず及びその化合物（有機すず化合物）	77-58-7	＜1	労働安全衛生法57条の2 第一種指定化学物質
2-エチルヘキサン酸	149-57-5	＜0.3	労働安全衛生法57条の2 第一種指定化学物質

注1）代表値であり、規格値ではありません。

注2）ポリイソシアネート中の残留物。

4．応急措置

吸入した場合　：　蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しや

姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。

直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。

大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 ： 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物がある場合、気道確保のため、うつ伏せにするか、左側を下にして寝かせ、
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5．火災時の措置

適切な消火剤 ： 炭酸ガス、泡、粉末

使ってはならない消火剤 ： 水（棒状水、高圧水）

特有の消火方法 ： 可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。

消火を行う者の保護 ： 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 ： 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物をすばやく取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項 ： 河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材 ： 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止方のものを使用する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

注意事項 ： 静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。

保管

技術的対策及び保管条件 ： 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
漏れ、あふれ、飛散しないよう必要な措置を講ずること。
盗難防止のために施錠保管する。子供の手が届かないところに保管すること。

注意事項 ： 転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV）
ポリイソシアネート	設定されていない	設定されていない
ヘキサメチレンジイソシアネート	設定されていない	0.005ppm（TWA）
3-イソシアナトメチル-3,5,5- トリメチルシクロヘキシルイソシアネート	設定されていない	0.005ppm（TWA）
有機すず化合物	設定されていない	設定されていない
2-エチルヘキサン酸	設定されていない	時間加重平均値5mg/㎥

設備対策 ： 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とす
局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に喚起できる装置
取り付けること。

保護具

呼吸器用の保護具 ： 有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、有機防毒マスクを適時選択す

手の保護具 ： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具 ： 取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体の保護具 ： 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態 ： 液体

色 ： 淡黄色

臭い ： わずかな臭気

融点/凝固点 ： データなし

沸点または初留点及び沸点範囲 ： データなし

可燃性 ： あり

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし

引火点 ： 未測定（類似品のデータ：213℃）

自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
PH	:	該当せず
粘度	:	2,000～2,800（mPa･s/25℃）
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	水　溶解しない、 その他の溶媒　芳香族炭化水素類、エステル類、ケトン類に可溶
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度	:	約1
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	該当せず

10. 安定性および反応性

化学的安定性	:	経時変化あり
反応性	:	アルコール、水、アミン、カルボン酸などと反応し、発熱する。 水、カルボン酸と反応して、二酸化炭素を発生する。 塩基性物質やある種の金属化合物の存在によって重合発熱する。
危険有害反応可能性	:	アルコール、アミンなどと反応または、塩基性物質やある種の金属化合物の存在によって重合し、発熱する。
避けるべき条件	:	火気、高温多湿、長時間の開放
混触危険物質	:	水、アルコール、アミン、カルボン酸
危険有害な分解生成物	:	ヘキサメチレンジイソシアネート、ＮＯｘなど
その他の有害性情報	:	NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると容器が膨れ、場合によっては破損する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口		:	区分に該当しない
経皮		:	区分に該当しない
吸入	ガス	:	区分に該当しない
	蒸気	:	分類できない
	粉塵、ミスト	:	区分に該当しない

皮膚腐食性・刺激性	:	区分2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	:	区分2A
呼吸器感作性	:	区分1
皮膚感作性	:	区分1
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	区分1B
特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露	:	分類できない

特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露　：　分類できない
誤えん有害性　：　分類できない

12. 環境影響情報

生体毒性　：　情報なし
残留性・分解性　：　情報なし
生態蓄積性　：　情報なし
土壌中の移動性　：　情報なし
水生環境有害性(急性)　：　区分3
(慢性)　：　区分3
オゾン層への有害性　：　分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土などに吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国内規定

国連番号　：　該当しない
指針番号　：　171
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号　：　該当しない

容器等級　　：　Ⅱ

15. 適用法令

消防法　　：　危険物第4類第四石油類（非水溶性液体）危険等級Ⅲ

労働安全衛生法　　：　（通知対象物質）

ヘキサメチレンジイソシアネート

3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシルイソシアネート

2-エチルヘキサン酸

すず及びその化合物

有機溶剤中毒予防規則　：　該当しない

化学物質管理促進法　：　該当しない

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC)

・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。